

特定非営利活動法人兵庫県難聴者福祉協会 って、こういうところですよ (^ ^)

- ◆「ひとりぼっちの難聴者をなくそう！」を目標に30年以上前から活動しています
- ◆会員300人の内、半数が難聴者で会社勤めの方もいます
- ◆支援機関、関連団体とのつながりがあります
- ◆活動の意志を持つ人をサポートします
- ◆年齢関係なく、和気藹々と楽しんでいます
- ◆年2回イベント主催しています（10月兵庫の集い、2月新年一日交流会）
- ◆階層別専門部として青年部、女性部、高年部があり、交流研修企画を開催しています
- ◆事業専門各部では、要約筆記事業を行っているほか、耳マークやバリアフリーなど社会啓発に取り組んでいます
- ◆事務局では、当会の目標の実現に向けて関連団体や各部と調整連絡業務を行っています

私たちは、経験上、 このようなことを大事に想っています

- ★ 仲間と話し、楽しむこと
- ★ 自分の力を発揮できる何かを見出すこと
- ★ 目標を見つけること
- ★ 自分の聞こえを把握し、シーンに応じて必要なことを適切に求められること
- ★ 福祉サービス、便利な機器、社会的資源を活用すること
- ★ 聴覚障害について学ぶことはたくさんあり、知れば知るほど、奥の深い世界を実感できると気付くこと

聞こえにくい、 聞こえない大学生等、 学生期間0円 入会制度スタート

NPOで自分の知識や力を更に活かしつつ、
経験を積んでみませんか？

当協会では、平成28年度より、学生のみなさまにNPO活動を経験していただく機会を作りました。

学生期間は、年会費無料、当会主催のイベント参加費を優遇します。

イベントの運営や情報保障設営、受付業務など、社会に出た時に役立つ経験ができます。また、青年部として独自企画立案もしていただけます。最初は誰でも初心者ですので、一緒に楽しんでやりましょう。

当会の会員には社会人の難聴者もいますので、仕事の悩みや困ったことなども話し合えたり、情報交換ができます。

特定非営利活動法人 兵庫県難聴者福祉協会

<http://www.hyogohoh.jimdofree.com/>


FAX 078-805-4192

メール hyogohoh@gmail.com




【入会したらどうなるの?】


まずは、メールで入会の希望をご連絡ください。
氏名やメールアドレス等を教えていただきます。

 青年部所属になります


↓
同じ年代の仲間と交流ができます。

 社会人難聴者と交流できます

↓
仕事への不安や悩みを話し合えます。

 県内の情報保障付のイベント案内がメールで届きます


↓
様々な講演を聞く機会が増え、知識を高めることができます。

 会議では情報保障（PC要約筆記等）がつきます

↓
同じコミュニケーションの中で、相手との意見調整などを体験できます。

 イベント運営を経験できます

↓
情報保障の設営など、学校や職場では経験できないことをNPOの先輩方から教えてもらいながら経験をつめます。

 青年部で企画を立ちあげられます

↓
経験したいことや学びたいことなどを実現できます。企画書や予算書の作成も経験できます。

★入会の約束事★

- ① 仲間と楽しむ
- ② 社会的なルールを守る
- ③ 自分を大事にしつつ、相手を理解しようとする
アサーティブな態度を心掛けること



会員はこのようなことを経験しています

- ・ 中学生ごろから聞こえがおかしいことに気付く
 - ・ 伝音性難聴しか知らず、長い間、自分の聞こえを説明できずにいた
 - ・ 筆談をお願いするのに抵抗があった
 - ・ テレビや本で手話の勉強を始めたが覚えられなかった
 - ・ 職場でも言えずにいて、「仕事ができない」と評価を受けていた 青年部に入部。すべて筆談で教えてくれた。
- 入会**
青年部
- 会議ではお互いに筆談するか、要約筆記がつき、内容をしっかり把握して活動できた。
みんなとメールでもコミュニケーションできて楽しい。

バリアフリー部・理事

- 聞こえていた時と違って、様々なバリアが残されていることから、バリアフリー活動をしたく、事務局に立案。理事として責任を持つことで部を設立してもらった。
- ・ 関連団体と「鉄道バリアフリー検討推進委員会」を立ち上げ、バリアを明らかにするためにアンケート活動を行い、鉄道会社を招いて報告会で発表した。
 - ・ 近畿運輸局等主催のバリアフリーを考える集いで講演した。

情報保障やお互いの思いやりを受ける中で、自分に適した「コミュニケーション環境」を職場でも伝えられるようになった。
やりたいことを説明する力、企画する力を身につけられた。

+ 事務局長

事務局補佐を経て、事務局長に就任。
HP運営やチラシ作り、イベント運営、会議の準備から議長など、経験を積む。

NPOでの経験と、会社での経験がスパイラル効果を生んでいます。会社で経験できないことをNPOで経験できることは大きいです。自分の活動が誰かの助けになると実感できる活動はNPOならではの活動だと思います。

※この経験は一例です。「明石海峡大橋に登ろう」「たこ焼きパーティ」等、気軽に参加できる企画もあります(^^) 活動量や活動幅は、ご自身で決められます。